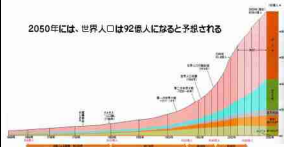


持続可能な社会

積み重なった問題に立ち向かう
生き残るために

人口爆発がアジア・アフリカでおきている

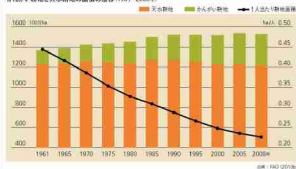
2050年には、世界人口は92億人になると予想される



地域編 市町村版『中学校社会科地図2016年 p. 145』

世界の耕地は増えていない

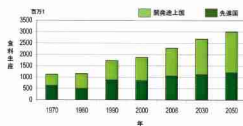
かんがい耕地と天水耕地の面積の推移(1961～2008年)



(社)国際農林産品協会 (JAICA)『世界の農林水産』2012spring p.4より

食料は足りるのか

世界の食料生産は2050年には70% (2006年比) 増加する必要



世界の食料生産予測 (FAO, 2016)

農業環境技術研究所 研究フロンティア 谷山 一郎『食料政策・環境政策と世界の土壌資源』

かんがい耕地の増加が運命を握る？

○ かんがい面積の増加とともに穀物生産量が増加。

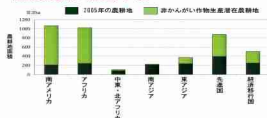


資料: (1) Statistical Database (FAO)
(2) World Population Prospects - The 2011 Revision (国連経済社会人口局)

農林水産省「世界の食料・農業に関する状況」2012年より

南アメリカとアフリカの潜在能力

現在の農耕地面積は14億haでさらに18億ha増加が可能、その半分以上は南アメリカとアフリカ



潜在農耕地面積 (FAO, 2008)

農業環境技術研究所 研究フロンティア 谷山 一郎『食料政策・環境政策と世界の土壌資源』

化石燃料は限りある資源



自然災害から暮らしをどう守るか



毎日新聞 2016年9月5日記事より

この資料は、毎日新聞の記事のレイアウトを修正しています。

2016年9月5日の毎日新聞A面第12ページに掲載された記事「台風10号で山津波 漁師まちから物資 震災支援 恩返し」のレイアウトを再現しています。

台風10号で山津波 漁師まちから物資

震災支援 恩返し

【山形県】山形県沖を通過した台風10号は、山形県内各地に豪雨を降らせ、山津波を発生させた。山形県内各地で、被災した漁師のまちから物資が運ばれた。被災した漁師のまちから物資が運ばれた。被災した漁師のまちから物資が運ばれた。

持続可能な社会を目指して



教科書 東京書籍新しい社会 公民2016年版 巻頭

持続可能な社会 と 課題

環境・エネルギー	
公害、環境保全、地球環境問題、資源・エネルギー問題など	
人権・平和	
差別・人権侵害、社会的弱者の支援、戦争・紛争、貧困・飢餓など	
伝統文化・宗教	
伝統文化の継承と保存、異文化理解、多文化共生、宗教・民族間の対立など	
防災・安全	
災害に強いまちづくり、東日本大震災からの復興、交通安全、防犯対策など	

教科書 東京書籍新しい社会 公民2016年版 p. 14